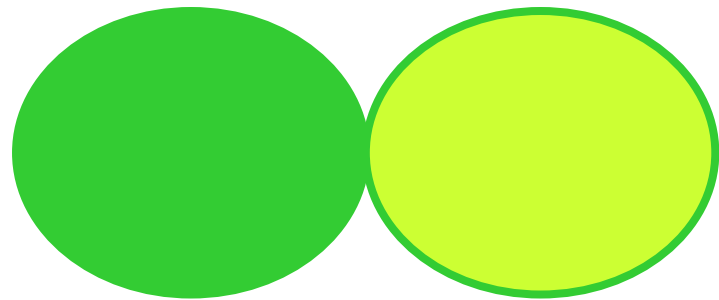
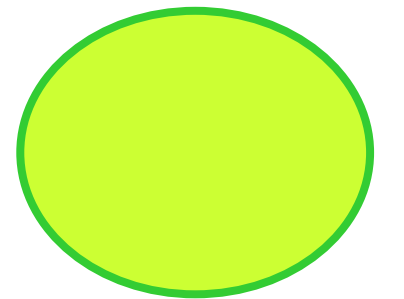


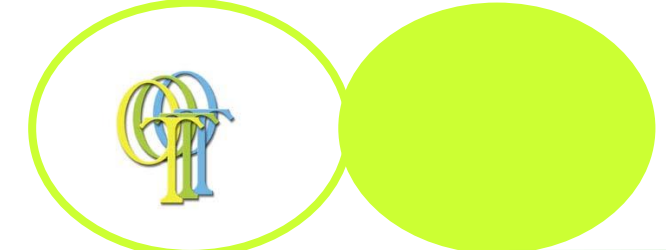


# 一般社団法人 三重県作業療法士会とは



こころとからだを元気に！  
自分らしく生きるためのリハビリテーション  
これからもあなたと共に作業療法





- 作業療法士国家資格取得者で構成される三重県の団体で、1985年（昭和60年）に結成されました
- 2010年（平成22年）には一般社団法人として認可され移行しました
- 2020年（令和2年）に創立35周年を迎え、2022年（令和4年）3月31日現在の会員数は665名です

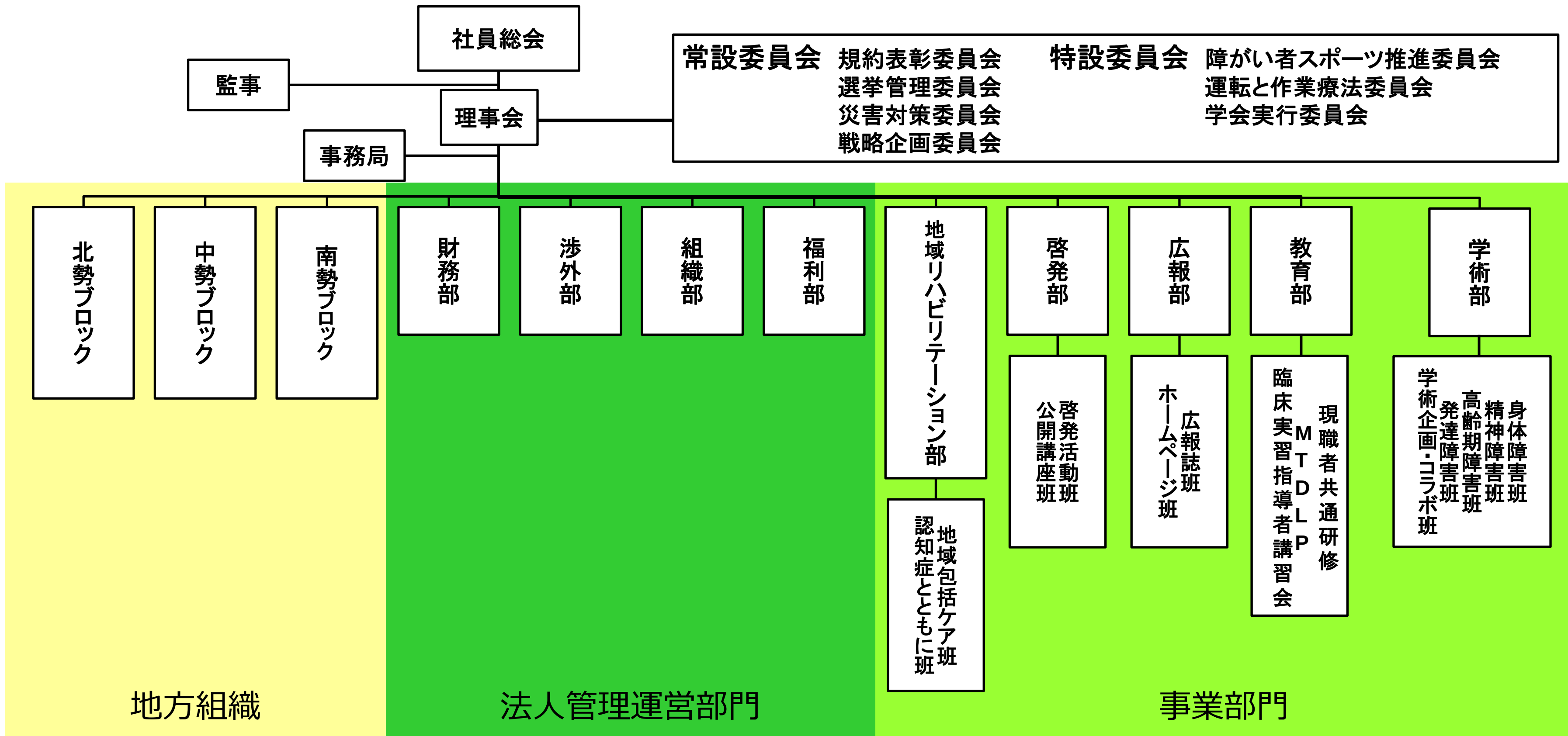
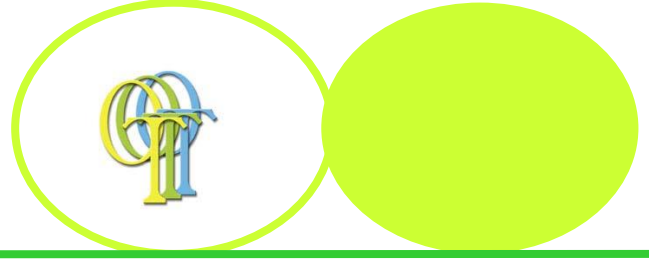
当士会では県民の医療・保健・福祉の向上を目的に

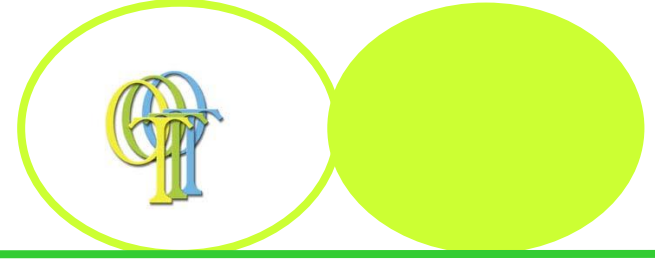
- 1.作業療法の**学術・技能の研鑽**
- 2.作業療法士の**資質の向上**
- 3.作業療法の**普及と発展**

を掲げ

意欲的に活動を行っています！

# 一般社団法人三重県作業療法士会 組織図





## <学術部>

- 「身体障害班」、「精神障害班」、「高齢期障害班」、「発達障害班」、「学術企画・コラボ班」で活動
- 県士会員向けの研修会を企画・運営  
分野別研修会・研究発表支援など
- 三重県作業療法学会の運営をサポート

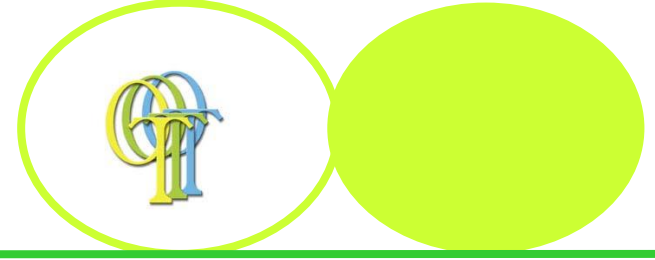
※ HPやLINE・広報誌で研修会情報をご確認ください

令和4年度の分野別研修会について、会員の皆さまから広く希望を募り、内容を検討したいと考えています。

ぜひ、右のアンケートにご協力ください！

アンケートはこちらから！





## <教育部>

- 日本作業療法士会が設けた生涯教育基礎研修制度を企画・運営
- 研修会開催時にお手伝い頂いています  
現職者共通研修・MTDLP・臨床実習指導者講習会に分かれて活動しています

## <広報部>

- 「広報誌班」と「ホームページ班」で活動

### 【広報誌班】

- 広報誌は年2回発行し、県士会員の活動を発信
- 情報はPDF（電子媒体）として、ホームページ掲載と各ブロックに発信

### 【ホームページ班】

- ホームページは、リアルタイムで情報を更新
- Facebook、Instagramの管理・運営

- すべての会員が広報部員です
- 「会員の活動」や「OTの素晴らしさ」を魅力的に多くの方に伝えています

## ＜啓発部＞

### ● 「啓発活動班」と「公開講座班」で活動

#### 【啓発活動班】

- 県民の方に「作業療法・作業療法士」という職種の知名度を上げていく事を目標に活動
- 県内高校生に「高校生作業療法体験・見学会」を実施  
次世代の作業療法士を発掘する為に高校生への啓発活動を行います
- 依頼を受けたイベントに参加し、作業療法の啓発活動を「リハレンジャー」を通して行います  
リハレンジャースーツを着用し、リハレンジャー体操や寸劇、参加者との交流  
リハレンジャー啓発グッズの開発など（CD・塗り絵・缶バッチ・クリアファイルなど）

#### 【公開講座班】

- 年1回、県民の方を対象に公開講座を企画・運営  
これは作業療法・作業療法士の仕事内容を知って頂く機会として有益
- 年2回、会議を行い、公開講座の内容検討やチラシ発送の準備などを行います
- 公開講座は北勢・中勢・南勢と順番に各ブロックを巡回し開催  
今後もニーズに合った内容の企画・運営を検討

## <地域リハビリテーション部>

### ●「地域包括ケア班」と「認知症とともに班」で活動

#### 【地域包括ケア班】

- 地域包括ケアシステムの構築が加速するなか市町レベルでの活動に向けた後方支援を実施
- 各市町の担当部員を中心に、委員や講師などの要望に迅速に対応できるシステムの構築を進めています
- 塗り絵はがき：外出制限中、自宅の中でも楽しめる作業の提供、作業を通して大切な人とのコミュニケーション手段の提供を目的に、三重の名所の塗り絵はがきを作成し、病院や施設・行政等へ配布
- 人材育成研修会：地域で活躍できる人材を育成する目的で介護予防リハビリテーション多職種研修会を企画
- 講演資料作成：士会員が使用できる講演資料を作成



## <地域リハビリテーション部>

### 【認知症とともに班】

#### ○講師・委員などの依頼に対する参加

- ・ **認知症の人と家族の会** ・各市町における**認知症カフェ事業**への参加
- ・ 各種研修会の講師依頼への対応

#### ○研修会・勉強会の開催

- ・ **認知症アップデート研修** 目的：全領域の県士会員に対する認知症対応力の底上げを図る
- ・ **認知症スキルアップ研修**

目的：1.施策に基づいて創出されている地域の多様な資源・取組についての知識の普及  
2.地域生活を視野に入れた臨床支援を展開できるスキルの研鑽  
3.行政等と連携して地域の資源に参画し、専門性を発揮できるスキルの研鑽

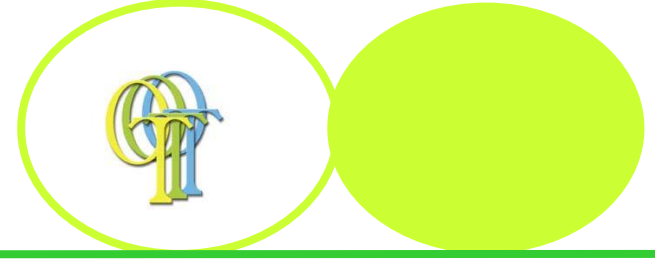
- ・ **OTオンライン回想法勉強会** 目的：1.地域活動に活用できる回想法スキルの獲得  
2.若手会員のネットワークづくり 3.地域活動へのつなぎ

- ・ **オンライン勉強会** 目的：若手会員の育成とアウトプット支援

- ・ **みえーる認知症OT交流会勉強会** 目的：各地の取組発信、情報交換、ネットワーク形成を行う

- ・ **認知症フレンドリー社会に向けた研究と社会実装**

目的：フレンドリー社会におけるOTの役割を探る・創る



## <事務局>

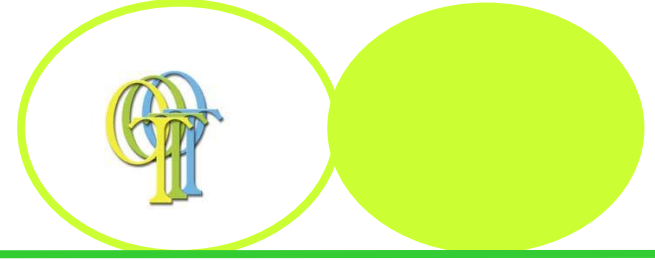
- 県士会員名簿の管理
- 郵送物などの管理
- 総会・理事会の運営
- LINE@の管理・運営

## <財務部>

- 年会費、県士会活動費の管理
- 決算、予算案の作成

## <渉外部>

- 三重県、市町の関係部署や三重県作業療法士会と関係のある団体との連絡調整
- 賛助会員の募集

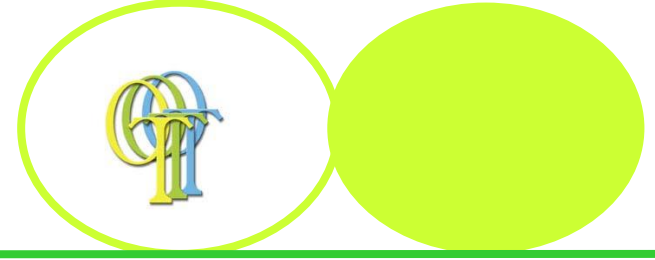


## <組織部>

- 各部局・委員会の活動を把握し、中長期的に県士会組織として必要な活動・運営を検討し提案
- 各ブロック（北勢・中勢・南勢）ごとの施設間連絡網のとりまとめ
- 県士会活動研修や管理職OTネットワークの会の企画・運営や東海北陸リーダー養成研修会の連絡調整

## <福利部>

- 県士会員交流のためのイベントを企画・運営  
新人交流会、スポーツレクリエーション大会など
- 県士会員に倫理問題が生じた際の相談窓口



## ＜規約表彰委員会＞

- 定款や規約の作成、改定
- 三重県作業療法士会、日本作業療法士協会やその他団体への表彰推薦者の審査

## ＜災害対策委員会＞

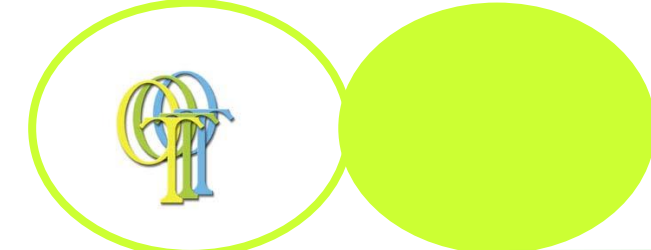
- 東日本大震災を期に、今後起こりうるといわれている東南海地震への備え（三重県の被災）に加え、被災地への作業療法士の派遣など他県への支援を目的に活動

## ＜戦略企画委員会＞

- 各部局の重点項目など中長期的な活動の提言
- 医療・介護における作業療法の保険に関することや、緊急事項、今日的課題への対応

## ＜選挙管理委員会＞

- 2年に一度、代表理事・理事・監事を決める選挙を行う  
選挙に際し公示・立候補者の取りまとめ・告示を行う  
実際に選挙が行われる時は票の計数を行う



特設委員会とは、一定期間内に県士会として啓発面、学術・教育面を推進していく  
目的で作られた委員会です。

## ＜障がい者スポーツ推進委員会＞

- 障がい者スポーツの啓発活動を行います
- 障がい者スポーツに関する知識を学習する機会を提供
- 活動期間は2023年（令和5年）3月31日まで

## ＜運転と作業療法委員会＞

- 運転・移動に関わる職種として啓発活動を行います
- 障害者及び高齢者の能力に応じた自動車運転の教育、リハビリテーションについて学習する機会を提供

## <学会実行委員会>

- 第21回東海北陸作業療法学会（兼第33回三重県作業療法学会）  
**2022年（令和4年）11月12日（土）～12月11日（日）**  
の期間に開催します  
**2022年（令和4年）5月20日（金）～7月15日（金）17:00 まで**  
**一般演題の新規登録を受付**しています
- 第34回三重県作業療法学会  
活動期間は2024年（令和6年）3月31日まで

## <北勢ブロック・中勢ブロック・南勢ブロック>

- 三重県は縦に長いため、**3ブロックと10地区に区割り**
- それぞれに**ブロック長と地区担当者を配置し、各地域の特性に応じた研修、勉強会、交流会を実施**



# 各ブロックの地区割り図



## 中勢ブロック

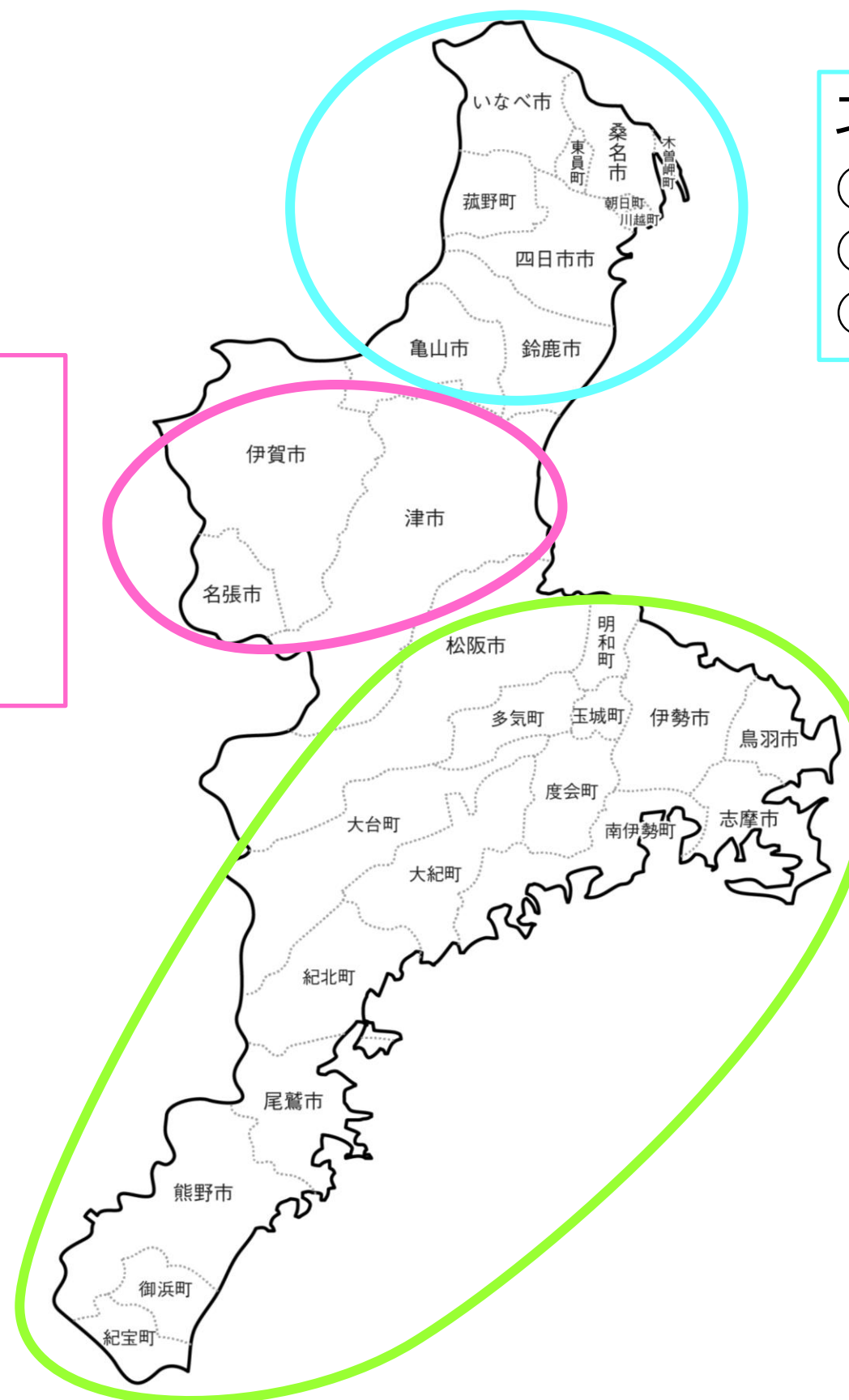
- ④津西
- ⑤津北
- ⑥津東
- ⑦伊賀市、名張市

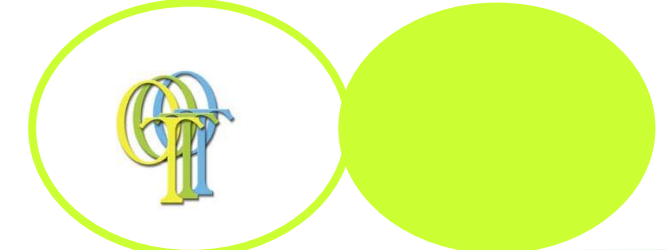
## 北勢ブロック

- ①いなべ市、桑名市、東員町、木曽岬町
- ②四日市市、菰野町、朝日町、川越町
- ③鈴鹿市、亀山市

## 南勢ブロック

- ⑧松阪市、明和町、多気町、大台町、大紀町
- ⑨伊勢市、鳥羽市、志摩市、玉城町、南伊勢町、度会町
- ⑩尾鷲市、熊野市、紀北町、御浜町、紀宝町





一般社団法人三重県作業療法士会は、このように様々なところで活動しています

**なぜこのような活動が必要なのでしょう？**

それは、**県・市町などの行政、企業や他団体、県民の皆様に作業療法を理解して頂くためです！！**  
**作業療法・作業療法士という存在や仕事を知ってもらえなければ、職業として必要ではないと思**  
**われる恐れがあります**

そのために臨床現場で働くこと以外に**職能団体**として活動していく必要があるのです

また、**職業人として知識や技術を日々磨いていく**ことも必要です

入会したばかりで右も左も分からないとは思いますが、**一会員として三重県作業療法士会の活動**  
**に参加してください**

**職場以外の作業療法士と交流し、様々なつながりができることで自己の能力拡大や視野が広くな**  
**ります**

**そして、それを臨床現場に活かしていけます**